

## 案件概要表

| I. 提案事業の概要          |  |
|---------------------|--|
| 1. 対象国名             | ウガンダ国  |
| 2. 案件名              | 西ナイル栄養改善生計向上(NILE)プロジェクト   |
| 3. 事業の背景と必要性        | 北部ウガンダは、難民門戸開放政策により多くのコミュニティが 100 万人近い難民を受け入れている。対象地域であるアジュマニ難民居住区およびそのホストコミュニティは、極度の貧困の中で、食料（特に鉄分やビタミン C を多く含む食材）の不足、脆弱な生計（収入源の不足と居住環境悪化）、そして、栄養や育児に関する知識・経験の不足などが作用して、子どもや思春期女性の栄養状態が非常に悪く、対策が求められている。また、思春期女性が栄養状態の悪いまま若年で妊娠・出産することが多く、栄養不良が世代を超えて再生産される悪循環の原因になっている。難民居住区で配布される食料が、栄養価および量ともに不足していることに加え、女性が食料の調達や薪拾いのために多くの時間を取られ、栄養価の高い食事を準備する時間が不足している点も、栄養不良の改善を妨げている一因と言える。このように、生活環境、生計、栄養、ジェンダーの問題は相互に関連して悪循環になっており、一体的な支援が行われないとそこからの開放は困難である。   |
| 4. プロジェクト目標         | 対象地域で、妊産婦・授乳婦と思春期女性の栄養に関する知識・習慣が改善し、対象世帯が栄養価の高い食料へ持続的にアクセスする。  |
| 5. 対象地域             | 西ナイル州アジュマニ地区、アジュマニ難民居住区 Ayilo-1 & 2 居住区及びホストコミュニティ   |
| 6. 受益者層（ターゲットグループ）  | 直接受益者：5 歳未満の子ども、妊産婦・授乳婦、思春期女性（12～19 才）、合計約 30,000 人（難民居住区 15,000 人、ホストコミュニティ 15,000 人）。  |
| 7. 生み出すべきアウトプット及び活動 | <p><b>&lt;アウトプット&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアグループ（CG）を通して、妊産婦・授乳婦、思春期女性が健康な食事と育児ケアについて学ぶ。</li> <li>2. 社会行動変容コミュニケーション（SBCC）戦略活動が実践される。</li> <li>3. 対象世帯における生計基盤と就労機会が改善する。</li> <li>4. 栄養価、特に鉄分を多く含む食料（植物および家畜）の生産が拡大する。</li> <li>5. 県栄養調整委員会の調整能力が向上する。</li> </ol> <p><b>&lt;活動&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. CG システムの実施基盤整備、CG 形成、CG プロモーター栄養研修、CG ボランティアによる栄養教育活動、保健・栄養サービスとの連携とリファラル強化、母親世帯訪問、CG プロモーターとボランティアによる月例会議</li> <li>2. バリア分析と状況調査、SBCC 戦略策定、コミュニケーション教材作成、学校保健・栄養コミュニケーション活動</li> <li>3. 自助グループ形成、生計手段特定、スキルトレーニング、ビジネスの立上げサポート</li> <li>4. 小型家畜飼育普及、鉄分を多く含む豆類とビタミンを多く含むサツマイモ・野菜栽培普及、「コミュニティ展示農場」設置、コミュニティと学校での「栄養食料展示会」</li> <li>5. 調整委員会において調査結果・経験の共有、サポーターズ・スーパービジョンの実施、モニタリング評価研修</li> </ol> |
| 8. 実施期間             | （西暦）2023 年 11 月～2026 年 10 月（3 年 0 カ月）  |
| 9. 事業費概算額           | 99,905 千円  |
| 10. 現地カウンターパート      | 現地 NGO 機関 PACHEDO FOUNDATION   |
| II. 実施団体の概要         |  |
| 1. 団体名              | 特定非営利活動法人栄養不良対策行動ネットワーク  |
| 2. 活動内容             | 発展途上国の栄養分野で活躍できる人材・専門家を育成するための実務研修などの機会を創出し、低栄養改善のための開発支援活動を実践し、パートナーシップ強化とネットワーク構築を積極的に進め、その経験・知見を蓄積・共有・活用することで日本における国際栄養分野の発展と支援活動の充実に寄与することを目的とした団体。これまで実施した類似活動は、「北部ウガンダビデオビデオ栄養改善プロジェクト」、「北部ウガンダパラベック栄養改善プロジェクト」、「ネパール国ナワルパルシ郡急性栄養不良統合管理プロジェクト」、「2020-2021 年度 IFNA・栄養関連事業の戦略策定・案件形成に係るアドバイザー業務」、「モザンビーク国食料安全保障・栄養（IFNA）アドバイザー業務」、など。ほかに国内外の国際栄養関係者へのワークショップ研修など多数実施。  |